

一橋大学哲学・社会思想学会第9回総会議案書

(1) 2014年度の活動報告(前回総会以降) *敬称略

① 研究大会の開催

第15回大会(通算45回) 2014年6月7日(土)、研究会議室 参加者 53名

【個人研究発表】

9:30-10:30 橋詰 かすみ 「ジュネーヴにおけるルソーの受容-ピクテ事件とその反響」

司会 山崎 耕一

10:30-12:00 八島朔彦 「ルソーにおける本性的善性論の論争的意義について」

司会 森村 敏己

13:00-14:00 清水 雄也 「社会科学の哲学における自然主義論争を治める

—Steelによる再図式化の批判的検討を通じて」 司会 井頭 昌彦

14:00-15:00 鶴田 陽香 「20世紀初頭の優生学における遺伝論と環境論の連続性」

司会 加藤 泰史

15:10-18:10 【シンポジウム】「ネオ・プラグマティズムの現在」

野家 啓一(東北大学名誉教授)

「反自然主義」としてのネオ・プラグマティズム」

大河内 泰樹(一橋大学准教授) *パネラー兼司会者

「知識の社会性と科学批判—ブランドム、ハーバーマス、ヘーゲル」

井頭 昌彦(一橋大学准教授)

「Pragmatic Naturalism/Sydney Planとその課題」

18:15-18:40 総会 議案了承。 議長 森村 敏己

会則一部改正。「一橋哲学・社会思想セミナー」承認。

第16回大会(通算46回) 2013年12月6日(土)、研究会議室 参加者 36名

【個人研究発表】

10:00-11:00 小倉 翔 「認識的外在主義と推論—〈推論がアプリアリに正当化されること〉
という観点から」 司会 加藤 泰史

11:05-12:05 清水 雄也 「因果理論は介入を放棄すべきか—介入主義の意味論的問題」
司会 大河内 泰樹

13:20-14:20 小谷 英生 「ドイツ通俗哲学の興亡—18世紀ドイツ哲学理解のために」
司会 平子 友長

14:30-17:30 【シンポジウム】「公共哲学から公共性の思想史へ—共和主義・市民社会・国家—」
司会 上野 大樹

木村 俊道(九州大学教授)

「宮廷と帝国—初期近代ブリテンにおける「公共性」の原像」

上野 大樹（日本学術振興会研究員）＊パネラー兼司会者

「公共性の範型としての市民社会

—スコットランド啓蒙における「共和国」から「文明社会」への転回の一場面」

植村 邦彦（関西大学教授）

「ドイツにおける〈市民社会〉概念—ファーガソン、スミス、ヘーゲル」

18:00—20:00 懇親会 生協西食堂内にて開催 参加者 19名

② 学会発表者の募集

年2回個人研究発表を募集した。2014年11月に2015年夏大会の発表者、2015年4月に同年冬大会の発表者。

ただし、年度内に前年度の再募集が行われた。2014年5月に募集した同年冬大会の応募者が少なかつたため、8月に再募集した。なお、応募者はすべて採択された。

③ 「一哲学会報」の発行

【第18号】（2014年11月27日発行）

第16回大会開催案内／個人研究発表のレジュメ3本／シンポジウム趣意書、第15回個人研究発表のまとめ3本／シンポジウムのまとめ1本、第17回個人研究発表の募集。

【第19号】（2015年3月6日発行）

第16回個人研究発表のまとめ3本／シンポジウムのまとめ1本、各ゼミの卒論・修論・博論・新M1・D1の研究テーマ。

【第20号】（2015年5月25日発行）

第17回大会開催案内、第9回総会案内、個人研究発表のレジュメ3本、総会議案書、各ゼミ生の研究テーマ、第18回個人研究発表の募集。

④ 総会・幹事会

第8回総会 2014年6月7日（土） 議長 森村敏己氏

第1回幹事会 2014年7月2日（水） 社会思想共同研究室

第2回幹事会 2015年4月22日（水） 社会思想共同研究室

⑤ 渉外関係

特になし。

⑥ 学会ホームページ

院生幹事が担当、管理したが、5月以降、社会思想共同研究室で管理、運営する。

＊会計報告

旧哲学・社会思想研究会から引き継いだ現金（昨年残額4757円）の中から、6月に飲料代とコピー代493円支出、12月に懇親会生協料理不足分1000円を支払い、残額3264円になった。なお、本学

会は学会費を徴収しない。

(2) 2015年度の活動計画

① 研究大会の開催

第17回大会(2015年6月13日)

第18回大会(2015年12月5日予定) シンポジウム予定

第19回大会(2016年6月第1土曜予定)(準備)

② 個人研究発表の募集・・・年2回(11月、5月予定)。

③ 「一哲学会報」の発行(年3回を予定)

④ 会員名簿の整理・管理。

⑤ 次期総会の準備(2016年6月)、及び、次年度の事業の準備。

⑥ ホームページの管理。

(3) 学会幹事の提案

2015年度の幹事として以下の者を提案する。なお、院生幹事の交代、退任等は幹事会で承認する。

*氏名の敬称略。

教員幹事 井頭 昌彦、加藤 泰史、森村 敏己

院生幹事 府川 純一郎、高木 駿、岩田 健祐、小倉 翔、高橋 駿仁、守 博紀

助手幹事 干場 薫

学外幹事 今年度なし

*本学会の教員幹事は、旧研究会から引き継いだ輪番表(2003年3月5日決定)に基づき、負担が公平になるように、交替制で担当することになっている。ただし、輪番表に含める教員については、必要に応じて見直しをする。

	加藤	森村	大河内	平子	井頭	学外
2013年			◎	○	○	小谷氏
2014年	○			◎	○	小谷氏
2015年	○	○			○	
2016年	○	○	○			
2017年		○	○			

◎は、代表幹事を表す。代表幹事1名は、2013年度から導入。